

# アクティブ パッセージ プロジェクト ACTIVE PASSAGE PROJECT - 泉町における動線空間の再構築 -

宇都宮大学 遠藤研究室

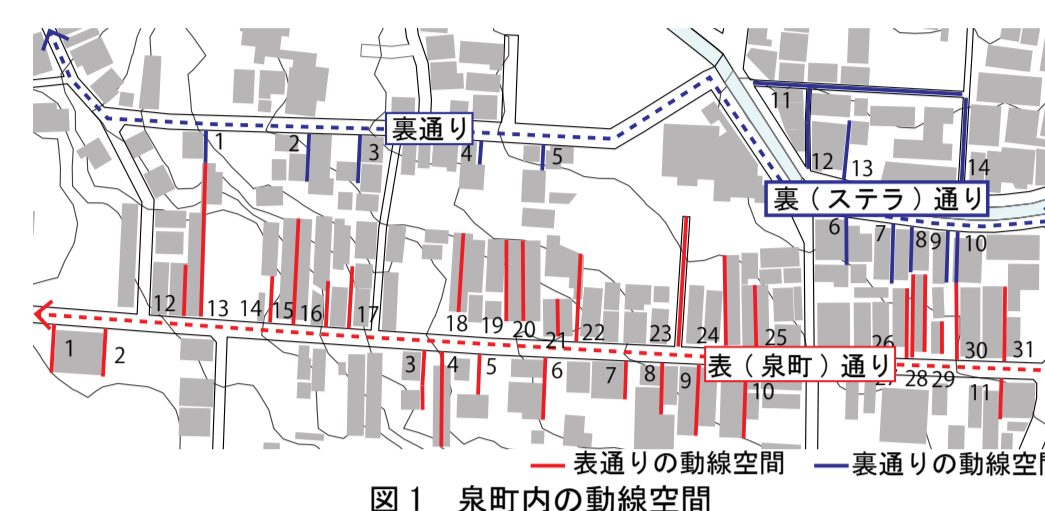
メンバー：鈴木 亮汰 草野 聡一朗 東田 雄崇  
宮本 朋樹 山口 颯太 滝沢 菜智  
指導教員：遠藤 康一

## 背景 共有空間の「動線空間」

路地、参道など建物の隙間から生まれた、「誰のものでもない環境な空間（＝動線空間）」は日本独自のオープンスペースであった。しかし、現在このような空間は土地所有の明確化などによって、共有空間としての使われ方はみられなくなった。

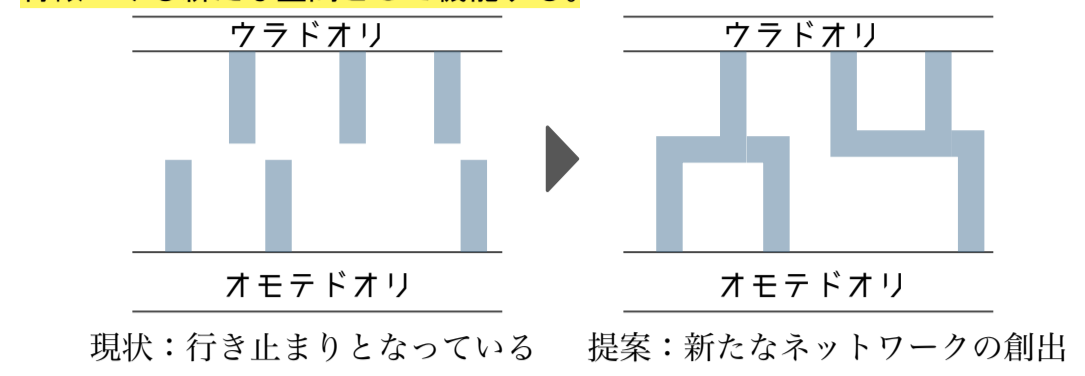
## 背景 泉町の空間構造

泉町においても、通りに並んだ住宅や店舗を結ぶ動線空間は数多くみられるが、そこは店舗への利用や居住者のアプローチのみに利用が限定され、共有空間としての活動は生まれていない。そのため、同じ街区であるが、それぞれが独立したコミュニティとなっている。

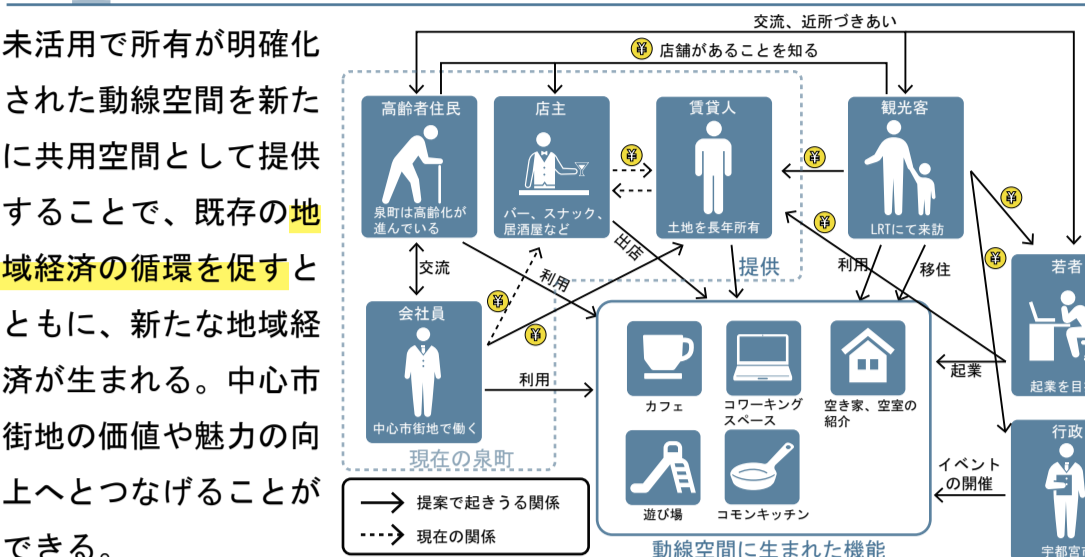


## 提案 動線空間の再編

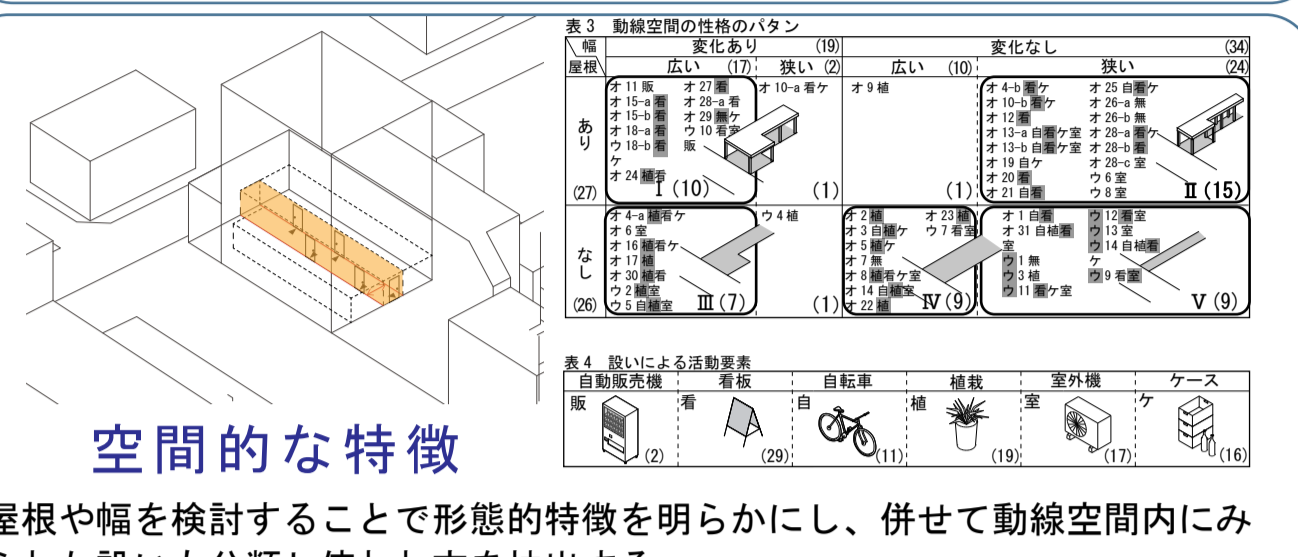
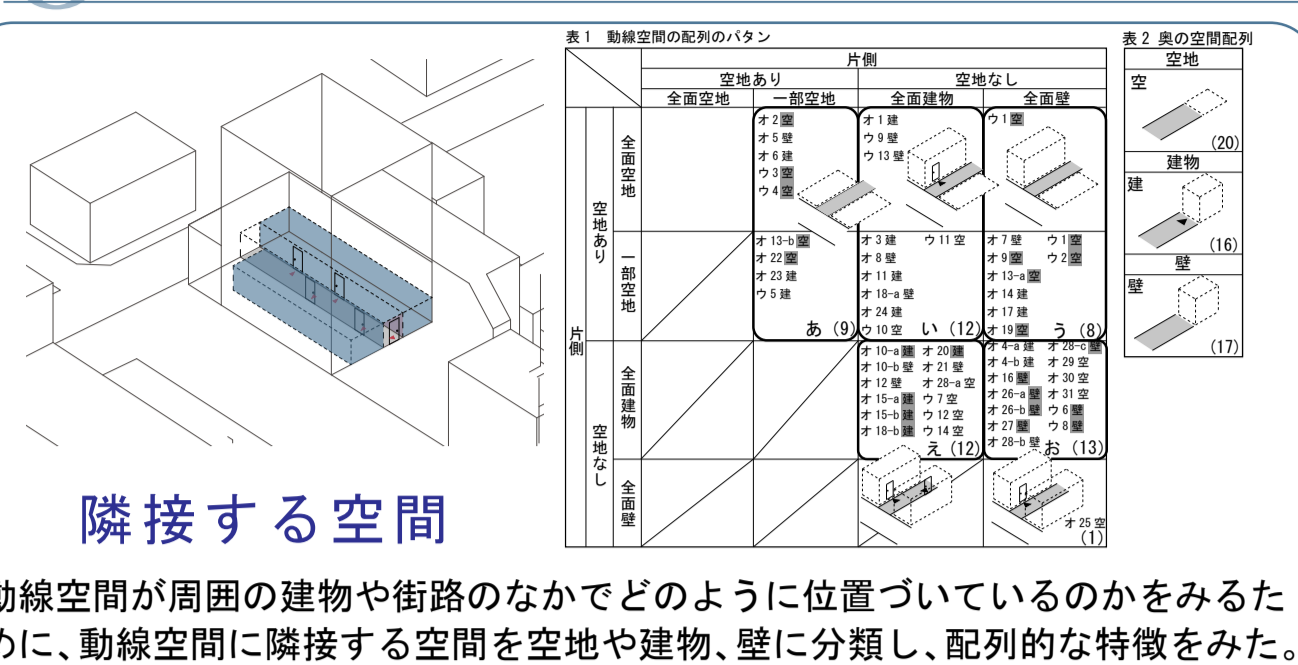
道路の行き止まり空間となっている泉町の動線空間を再編成することで、**新たなネットワークをつなげるとともに、この動線空間のまとまりが泉町を特徴づける新たな空間として機能する。**



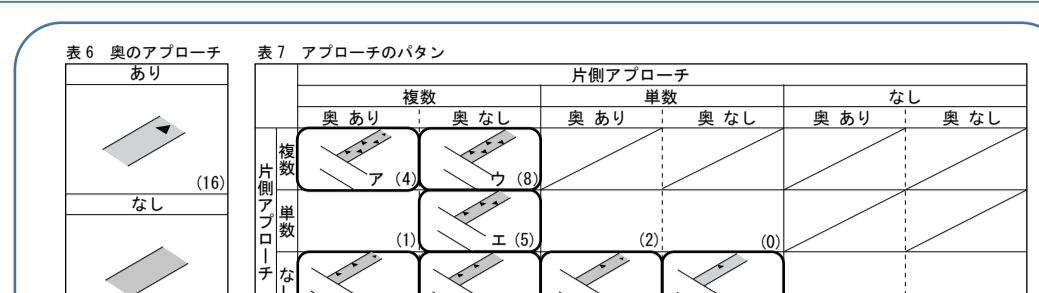
## 運営 新たな経済循環の仕組み



## 分析 動線空間に隣接する空間と空間的な特徴



空間的隣接	隣接する空間	空間的な特徴
表通り	裏通り	高低差
歩道	駐車場	参道
公園	未接道宅地	高低差



アプローチから動線の特徴を抽出  
動線の特徴を見出すことで、泉町の動線空間がもたらすネットワークの実態を明らかにする。動線空間の奥と両側のアプローチを分析し、重ねあわせることで、アーキの7つの動線パターンを抽出した。

動線空間がもつ空間的特徴と動線の特徴から敷地選定と設計の手がかりを見つける

## 対象 動線の特徴から敷地を選定

分析によって導き出した動線空間のネットワークから敷地の特徴やポテンシャルを活かすことができる3つの敷地を選定。

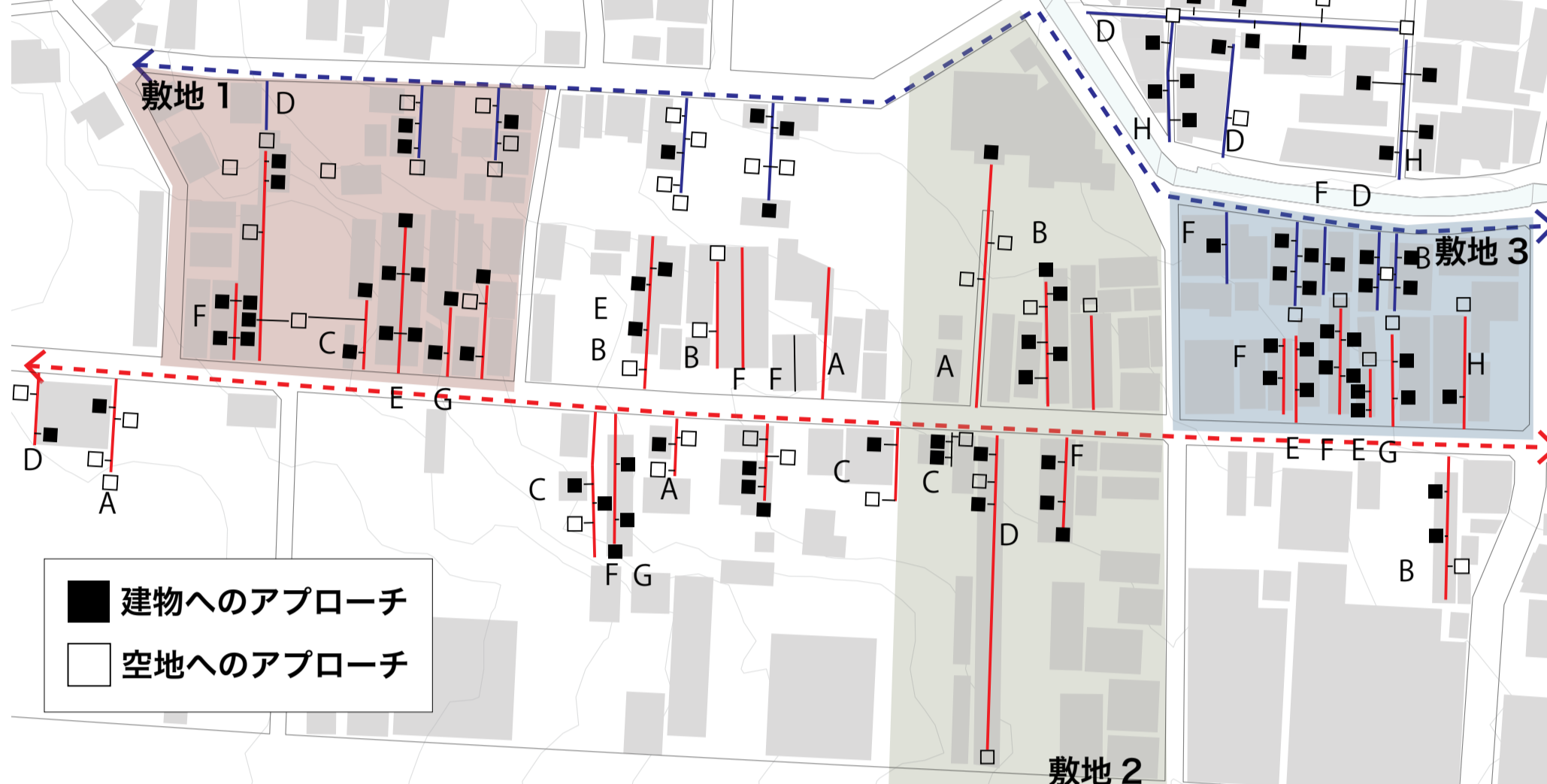


図2 泉町における動線空間ネットワーク S=1:2500

### 敷地1

表通り  
裏通り  
空地  
高低差

動線空間の断絶、高低差、複数の空地によって表と裏の通りが分断している。

### 敷地2

大通り  
表通り  
駐車場  
参道

大通りと表通りの分断が起きている。また、正行寺があり歴史や文化の混在がみられる場所である。

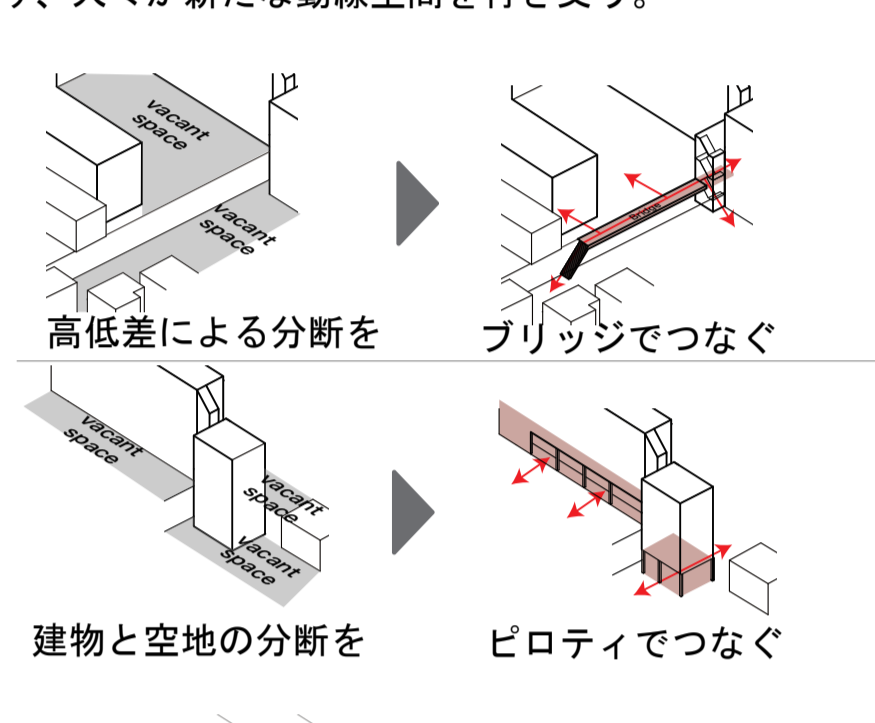
### 敷地3

表通り  
裏通り  
アプローチ  
未接道宅地

動線空間が密集しているが、単一のアプローチのみの利用である。また、奥の未接道の宅地は利用が見られない。

## 敷地1 イズミ・コモン・ヴィレッジ

周囲の建物はマンションや住宅が多いが、日中活動できる場が少なく、昼夜の暮らしが分断されている。そのため、ここでは暮らし（生活や仕事）の拡張となる場を提案する。表通りと裏通りを繋ぐ一体的なオープンスペースとなり、人々が新たな動線空間を行き交う。



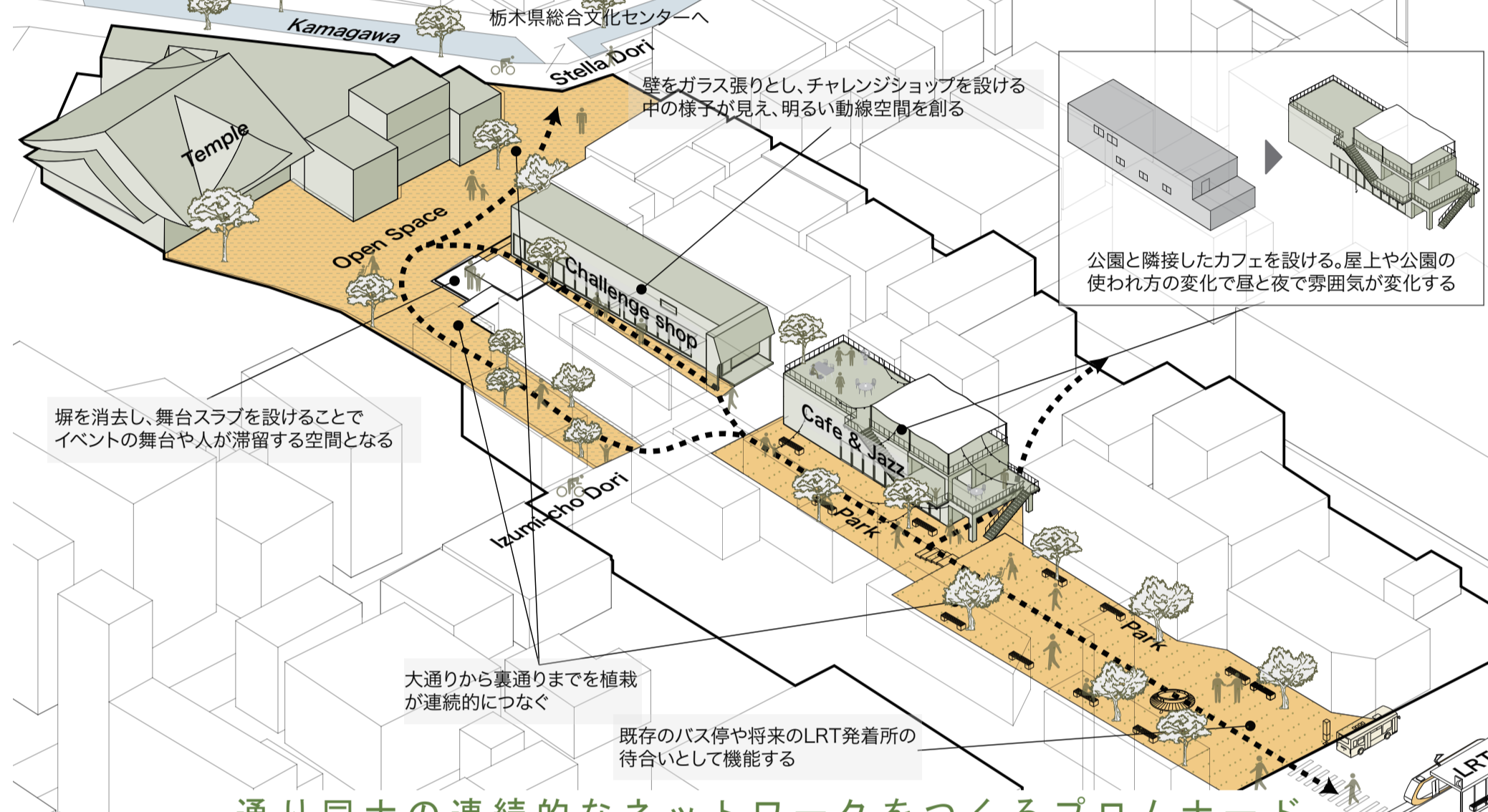
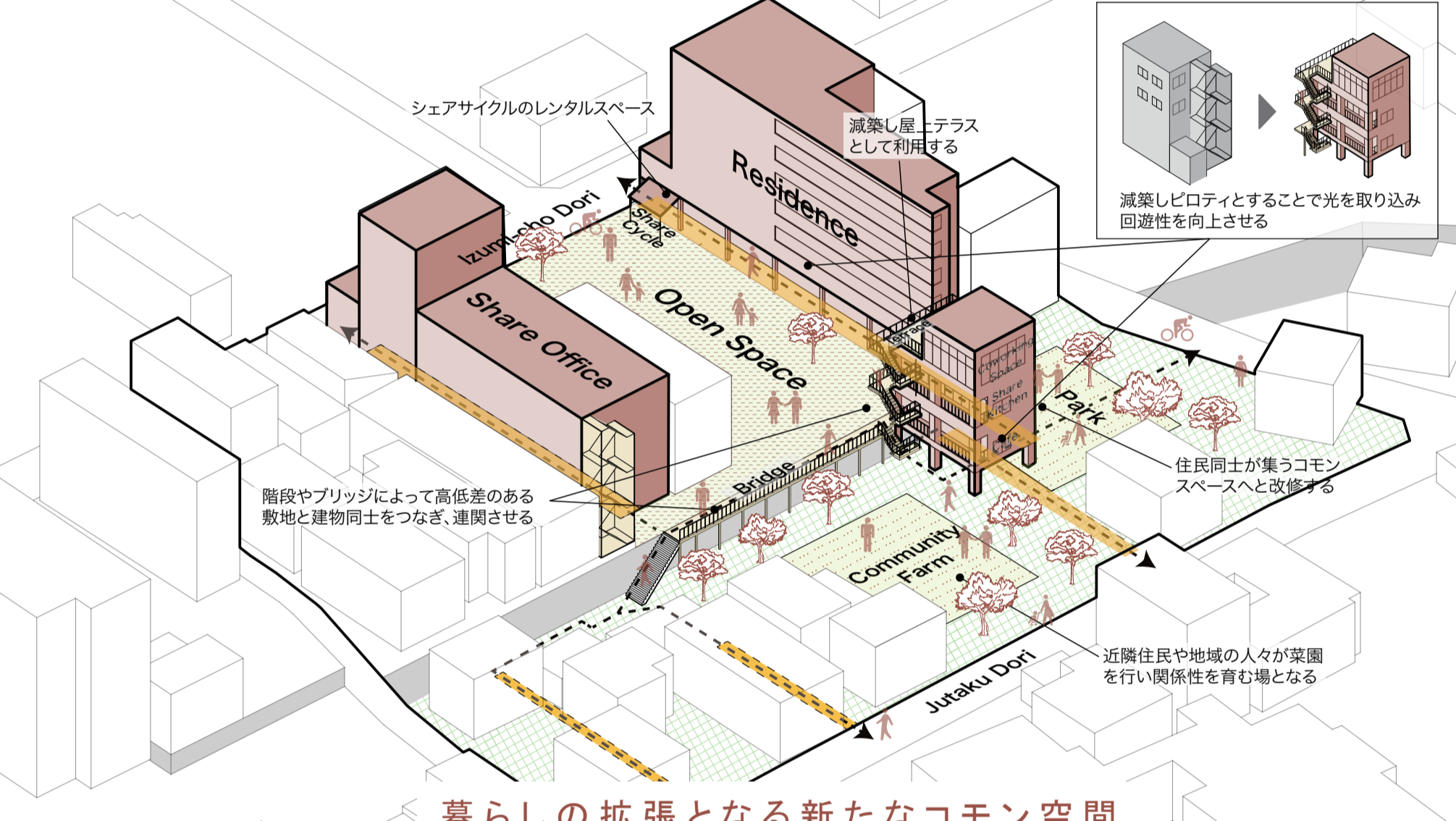
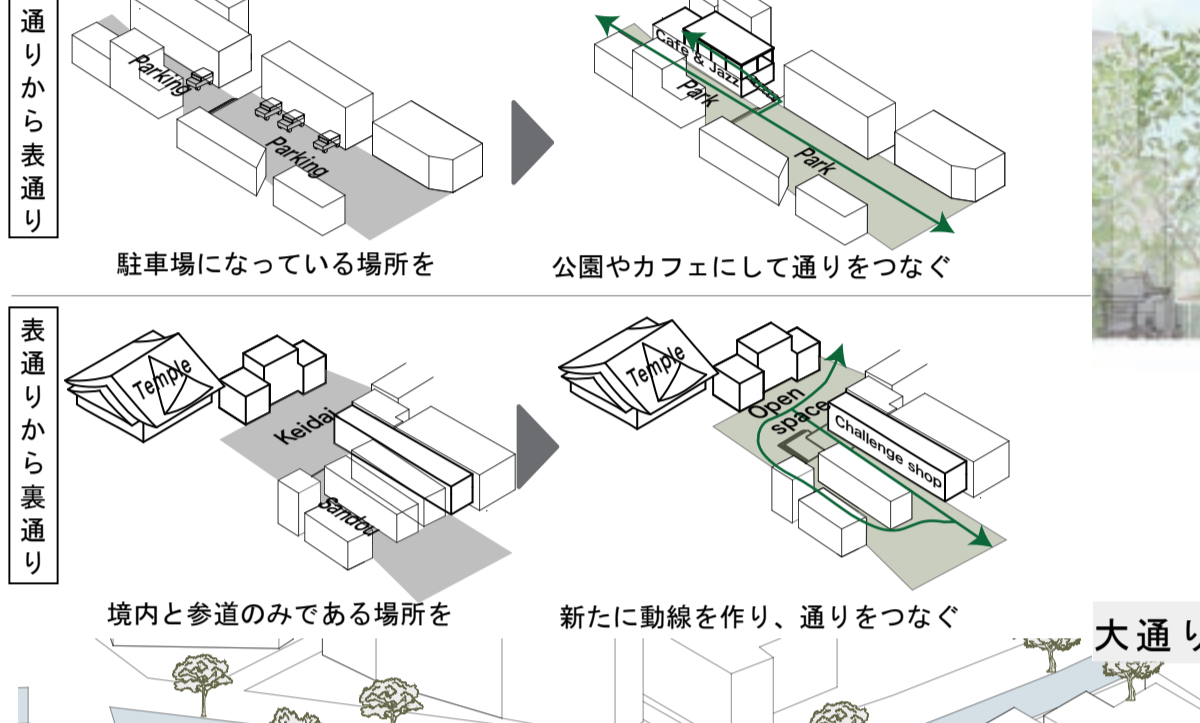
## 敷地2 マチテラ・プロムナード

動線空間の再編により、大通り、表通り、釜川に面する裏通りをつなぎ、連続的な大きなネットワークを形成し、人の流れを誘引し、各通りに滞留を生む。通りをつなぐ一体的な空間となると共に、かつて地域との結びつきが強かった寺のオープンスペースと街をつなぐプロムナードとなる。



## 敷地3 ステラ・ポケット・パーク

既存の建物を活用し、表通りと裏通りを繋ぐことで、表と裏の通りが分断されている状態を解消し、一体的な空間を創出する。

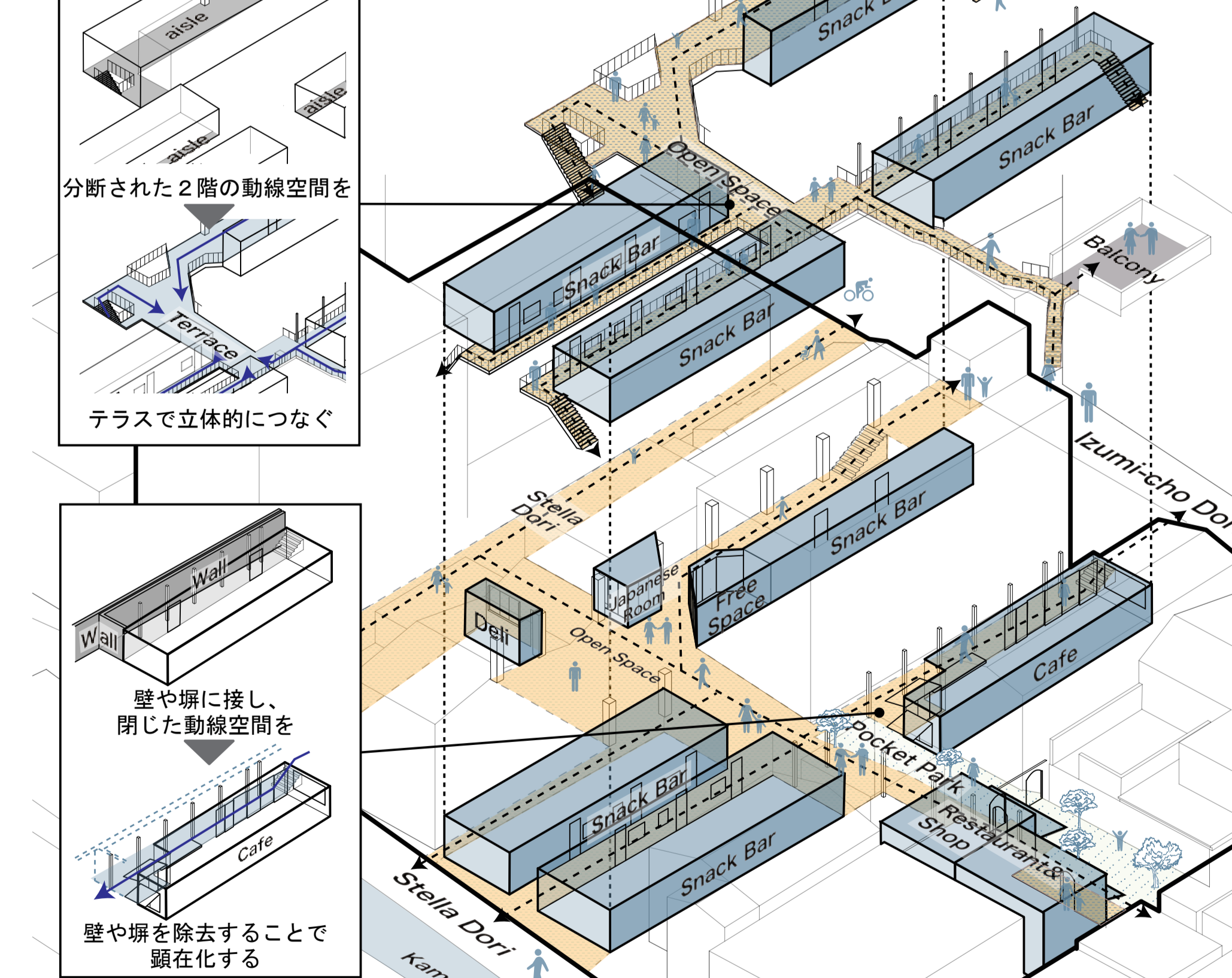


## 敷地3 ステラ・ポケット・パーク



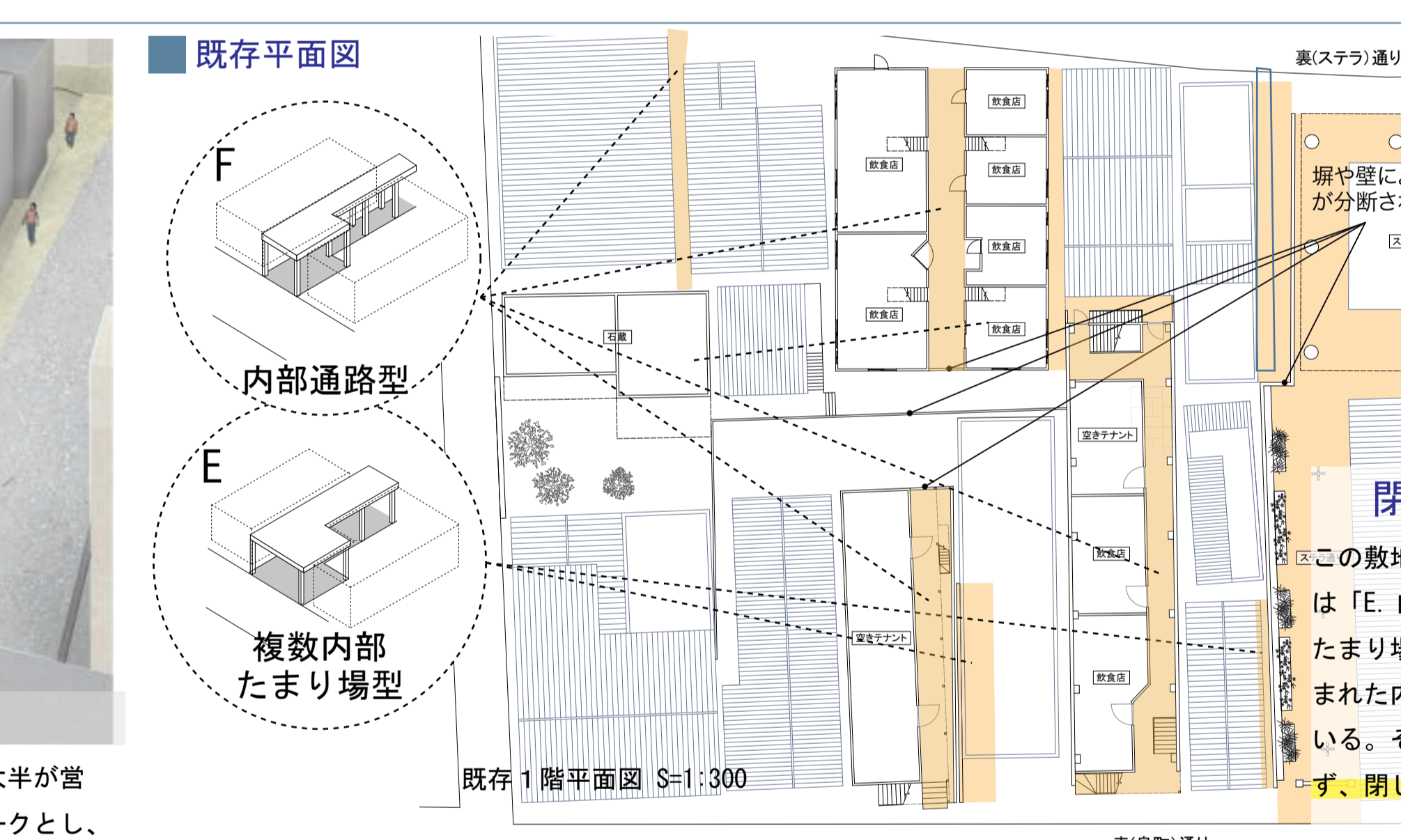
俯瞰して見る。多様な人の活動を受け止める都市の居場所ができる。

スナックや居酒屋など夜の飲食店が密集し、複数の動線空間を持つエリアである。夜は店舗からの賑わいを感じるが、昼は大半が営業をしていない、閑散としている。また、動線空間を奥へ進むと、未接道の空地が現れる。そこで、その空地をポケットパークとし、昼夜の活動を受け止め、隣接する店舗空間の拡張となる場を提案する。

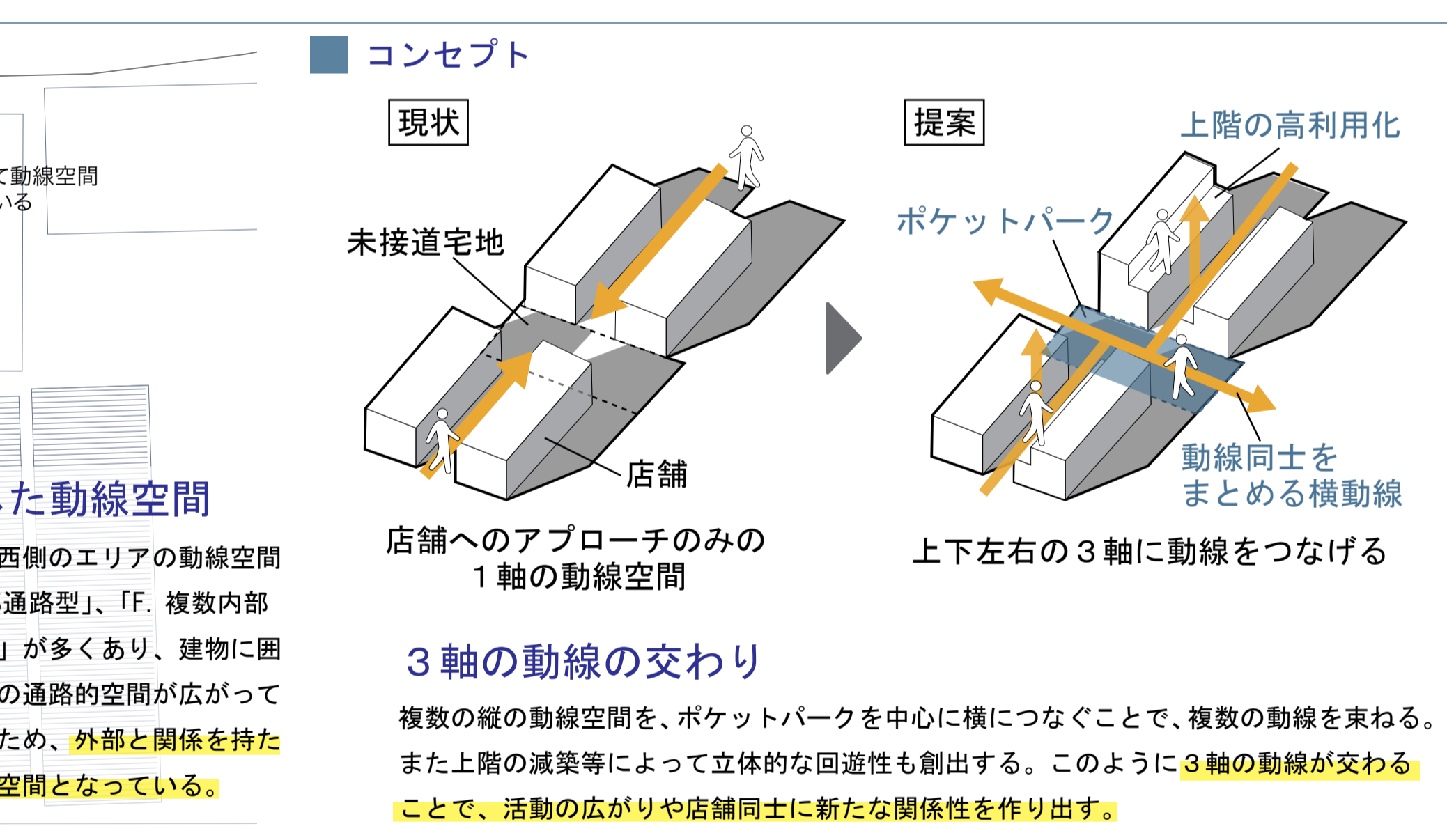


都市の困まれた空間が店舗との新たな関係を創出

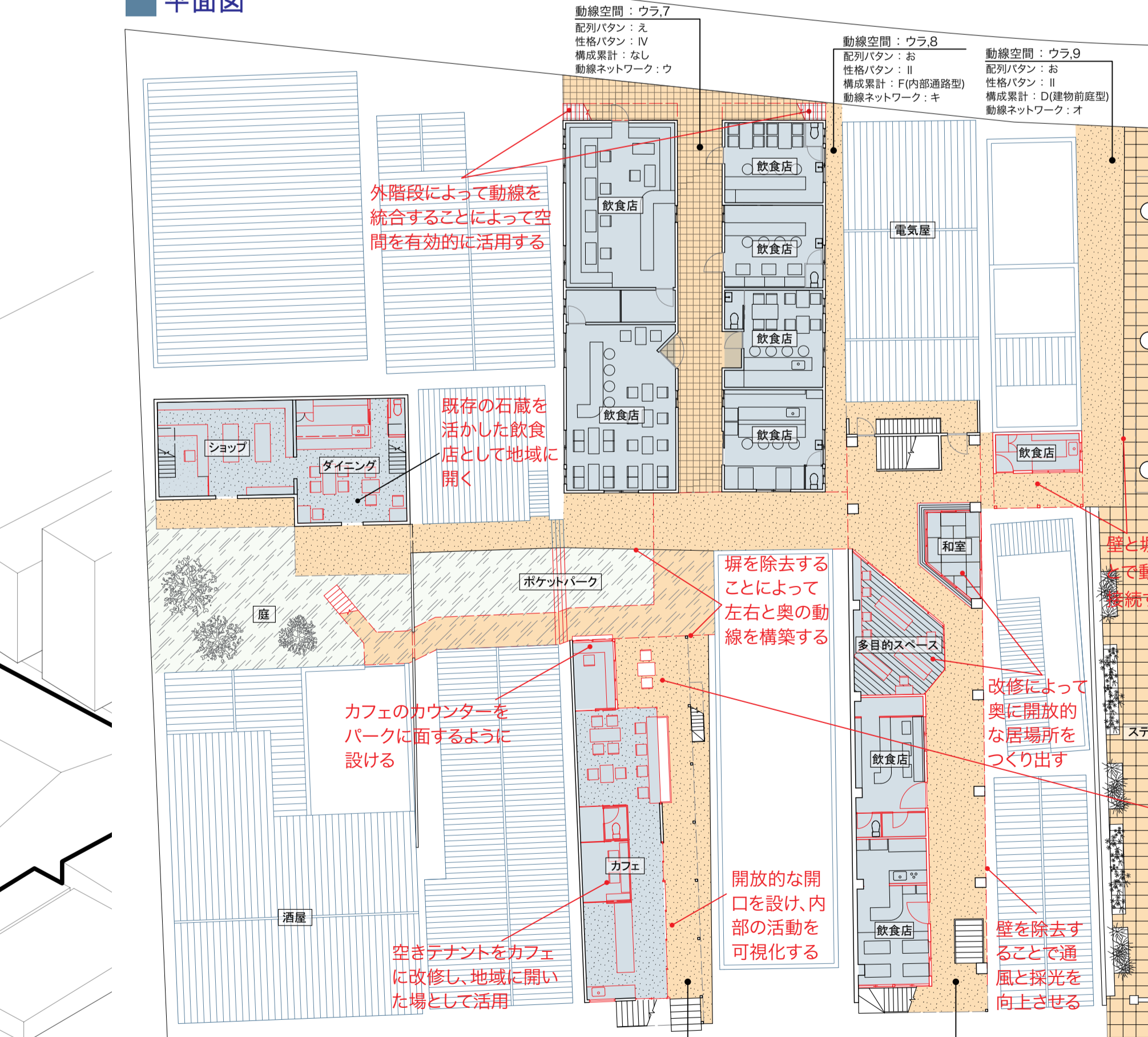
## 既存平面図



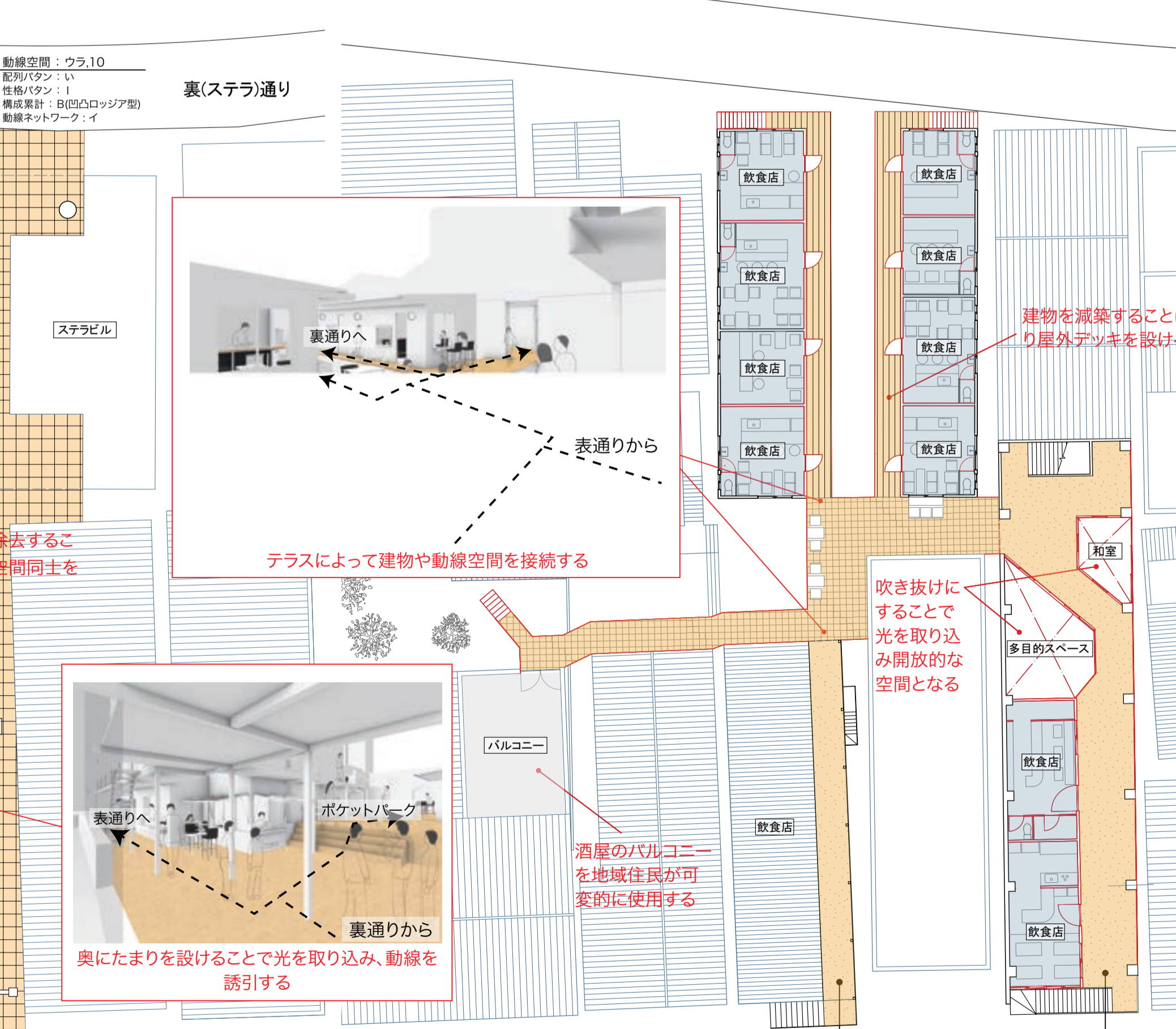
## コンセプト



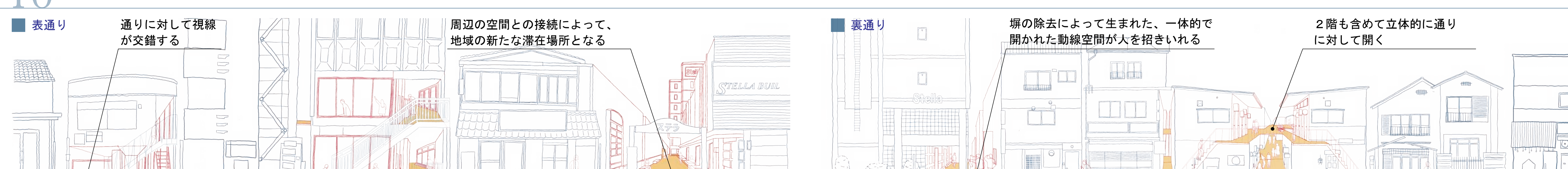
## 平面図



## 表(泉町)通り



## 街並み



動線空間を互いに提供しあうことで活動の密度が高まり、都市を活性化させる